



チューリップ天神町薬局

天神町薬局



- * 隣のクリニックは主に内科と皮膚科
- * 薬剤師3名、薬局スタッフ2名
- * 平日は18時まで開局し、地域に密着した支援を行える薬局として営業しています。
- * 処方せんは月約1,300枚で門前8割、近くの公立病院やクリニックから2割ほど受け付けています。

一日の様子

8 : 10頃 開店準備

レジ準備、掃除

8 : 30 開店

1日の業務が始まります
調剤、服薬など処方せん対応

12 : 30～14 : 30

各自順番に1時間休憩

休憩後、午後の部開始

調剤、服薬など処方せん対応
施設、在宅へ訪問

18 : 00頃

門前の終了に合わせて閉局業務
日報、売上金の確認、分包機の掃除



業務の流れ

①処方箋受付

＞処方箋監査

②調剤

＞患者様からの情報収集し、ピッキング

＞散剤は監査システムを用いて秤量

＞軟膏は軟膏練り機を使用

＞一包化は分包機を使用

③処方監査

＞ミスノンを使用し、監査

＞入力、薬のチェック

④服薬

＞薬剤を交付し、会計

＞服用歴の入力



分包機



軟膏練り機



- * 調剤室には約1300種類の薬剤があります。
分包機はユニバーサルカセット（UC）を採用しているためカセットの交換が不要です。UCがある分包機のため、薬剤師の手を取られることが少なく、対人業務に専念できます。
- * ペンライナー付属の為、用法ごとに色分けのラインが自動で引けます。
- * 軟膏練り機で短時間で一気に軟膏を練り上げます。

施設調剤



- * グループホーム 2 件 (約15人、約28人) を担当しています。1件はアパート併設で居宅療養管理指導を算定しています。
- * 施設では多くの方が入居しておられるので、患者様ごとにカゴに入れてお薬を管理しています。
- * 朝、昼、夕、寝る前で色分けします。
(分包機付属のペンライナーを使用)

待合室の様子



物販販売にも力を入れ、
主にあめや健康食品を
中心に販売しています。

- * 年配の方に人気の商品を
多数取り揃えています。
- * デジタルフォトフレームや
ポップなどを活用して
商品を紹介しています。